

第5回教育委員会（定例）議事録

1 開 会

令和3年7月28日（水） 14時00分

2 場 所

市役所第2庁舎3階 2-301・302会議室

3 会議に出席した委員

教育長 丹後 政俊

委 員 西田 正志

委 員 中村 貴子

委 員 垣内 敬造

委 員 山本 恭子

4 会議に出席した職員

部長（学校教育担当） 稲山 悟

部長（生涯教育担当） 小林 康弘

次 長 西羅 忠和

次長兼教育研究所長 酒井 宏

教育総務課長 中野 悟

学 事 課 長 山本 毅

学校教育課長 岸田 幸雄

東部学校給食センター所長 酒井 直隆

西部学校給食センター所長 石田 哲也

こども未来課長 竹見 朋子

社会教育課長 谷掛 昭二

文化財課長 村上 由樹

中央図書館長 小島 理三

田園交響ホール館長 小林 純一

総 務 課 長 河南 剛

中央公民館長 大路 和浩

学校教育課副課長 采女 達也

教育総務課係長 田中 真紀子

5 議事日程及び議案

別紙の通り

6 開会宣言

14時02分

7 会 期

（自）令和3年7月28日

（至）令和3年7月28日 1日間

8 会議録署名委員名簿

山本 恭子 委員

9 閉 会

15時45分

丹後教育長 全委員 丹後教育長	<p>日程第 1、令和 3 年度第 4 回会議録の報告、承認について意見等はないか。異議なし。</p> <p>全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。</p>
丹後教育長	<p>日程第 2、会議録署名委員は 4 番山本委員とする。</p>
丹後教育長	<p>日程第 3、会期は令和 3 年 7 月 28 日、本日 1 日間とする。</p>
丹後教育長	<p>日程第 4、議案に移る。議案第 7 号の「令和 4 年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」学事課説明を求める。</p>
山本課長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
中村委員	<p>小学生英語は「聞く・話す・触れる」等楽しい英語入門と認識していた。しかし英語教科となり、小学校英単語量は 600 から 700 語、熟語や会話表現を入れて 950 語が小学校習得済として中学校英語教科書に繋がっている。塾に行かないと付いていけないことのないよう教科書選びも研究してほしい。</p> <p>丹波篠山市は、東京書籍を使用している。絵や写真も多用されており見やすいが、別冊を参照するなど、教科書内で完結しない印象を受けた。アイコンが挿入されており、電子と併用できる点は良いと感じた。</p> <p>秋田県が使用している光村図書出版の教科書は、アルファベットや単語に触れる機会が多く、文字もぎっしりした印象であった。また、「ふりかえり」、「CAN-DO」が設定されており、絵辞典の活用で辞書に触れる導入がされている。また、英語の歌の「発展コーナー」は良い。単語はリズム付きで入りやすく覚えやすい。各単元も 10 頁に渡って学びが多い。今後の研究材料にしてほしい。</p>
山本課長 山本委員	<p>ご意見を今後、学校教育課や丹波市と協議をして次年度につなぐ。</p> <p>保護者 1 名のアンケートについて説明のなかで、教科書が分厚いので分けてほしいとの意見があった。保護者間ではこうした話はよくあるので貴重な意見と感じる。教科書が上・下の 2 冊ではなく、1 冊になった理由等わかれば教えてほしい。</p>
山本課長 西田委員 山本課長	<p>後で、調べて報告する。</p> <p>アンケートは匿名か。</p> <p>匿名である。</p>
丹後教育長 全委員 丹後教育長	<p>議案第 7 号「令和 4 年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」採決をする。異議はないか。</p> <p>異議なし。</p> <p>全員賛成で、議案第 7 号の「令和 4 年度使用義務教育諸学校用教科用図書</p>

	の採択について」原案どおり可決する。
丹後教育長	議案第 8 号の「丹波篠山市文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」文化財説明を求める。
村上課長	《議案書に基づき説明》
垣内委員	より広い見地のため定数を増数することは良いことと思う。
西田委員	6 名から 9 名への増数について、広い見地から意見を求めるとあるが、どういふ部分を強化補完するのか説明願いたい。
村上課長	文化財保存活用地域計画を昨年度策定した。カテゴリーはたくさんあるが、今回は文化財活用の部分を強化したい。
丹後教育長	議案第 8 号「丹波篠山市文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」採決をする。異議はないか。
全委員	異議なし。
丹後教育長	全員賛成で、議案第 8 号の「丹波篠山市文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」原案どおり可決する。
丹後教育長	議案第 9 号の「丹波篠山市文化財保護審議会委員の委嘱について」文化財課説明を求める。
村上課長	《議案書に基づき説明》
丹後教育長	議案第 9 号の「丹波篠山市文化財保護審議会委員の委嘱について」採決をする。異議はないか。
全委員	異議なし。
丹後教育長	全員賛成で、議案第 9 号の「丹波篠山市文化財保護審議会委員の委嘱について」原案どおり可決する。
丹後教育長	日程第 5、協議事項に移る。協議事項第 3 号「令和 2 年度実績教育委員会の点検・評価について」教育総務課説明を求める。
中野課長	《議案書に基づき説明》
中村委員	全体的に、保護者は、自立できる強い子どもに育ててほしいという願いを持っている。そのためには何が必要か、市民と共有したい。 10 ページ、「ふた葉プロジェクトの推進」の考え方が前向きでありがたい。眠育と共に食育も力を入れてほしい。 14 ページ、「学力・生活習慣状況調査は全教科目標値以上になること」の

<p>西田委員 中野課長 丹後教育長</p>	<p>指標は素晴らしい。揺るがずに、どの学校も、どの学年もその目標に向かってほしい。全国レベル以上の成果は保護者が「安心して通わせるまち」の材料になる。明石市は、学力が全国レベル以上であることを上手くプレスで扱い、子育て世代の心を掴んでいると感じる。</p> <p>「英語力について」については、ALT や JTE は授業中だけでなく、休み時間、給食、掃除時間等、英会話が出来る環境づくりに期待している。</p> <p>20 ページ、部活動指導体制の充実で「教員の負担軽減を更に図る必要がある」と記載があるが現状の課題や発展が見えにくい。推進員や指導員の成果も具体的に伝えてほしい。</p> <p>24 ページ、市内すべての学校園の防犯カメラ設置は本当にありがたい。安心材料になる。「設置したから終わり」にならず、子どもたちを市と学校が守っていることを周知してほしい。</p> <p>26 ページ、昨年度の生活状況調査からもコミュニティ・スクールの成果を感じる。市内全ての学校コミュニティ・スクールが地域と繋がった取組が成されていることがわかり大変嬉しい。子育てにこんな良いまちはないをアピールしてほしい。</p> <p>33 ページ、歴史資料の整理、目録作成、基礎資料調査はいつ行われたか。昨年末、使用してはいけない歴史資料が電子媒体から流出し問題が発生した。課題項目は、もう少し具体的に明記する必要があるのではないか。また、電子流出の点についても早急に仕組みを整えて公表してほしい。</p> <p>38 ページ、化石体験は学校で積極的に学ばせてもらっている。篠山層群や理科への興味に繋がると同時に、「ふるさと教育」や「コミュニティ・スクール」へも発展できる活用事業であり、大いに期待する。</p> <p>他に意見あれば8月4日までにどのように申し出をすればいいのか。 箇条書きでも構わないので、教育総務課まで提出をお願いします。 他に意見はないか。 ないようなので、協議第3号「令和2年度実績教育委員会の点検・評価について」は、ここまでとする。</p>
<p>丹後教育長</p>	<p>日程第6、報告事項に移る。報告1「寄附採納について」教育総務課報告を求める。</p>
<p>田中係長</p>	<p>《議案書に基づき報告》</p>
<p>丹後教育長</p>	<p>報告2「後援名義の承認について」教育総務課報告を求める。</p>
<p>田中係長</p>	<p>《議案書に基づき報告》</p>
<p>丹後教育長</p>	<p>報告3「令和2年度収納状況について」学事課説明を求める。</p>

山本課長	《議案書に基づき報告》
竹見課長	《議案書に基づき報告》
西田委員	収納率を上げるための取組内容を知りたい。
山本課長	学校園からの電話、教育委員会職員による特別徴収、児童手当からの充当、法務専門員からの督促文書の発送等である。
竹見課長	学事課と同様である。
西田委員	私が担当していた頃からみると、給食費だけでも 200 万円から 4 倍となっている。学校現場が徴収する方法から口座振替に変更になった。その結果学校現場は助かったが、顔が見える関係で支払いにつながっていたこともあり、学校現場も協力できていた。先ほど学校から督促電話もしていると説明があったが、学校現場も、なぜ我々がそんなことをしないといけないのかという意識もあるかもしれないので、事務局から教職員への丁寧な説明も必要ではないかと思う。未収金が増えると制度根幹に関わる。これ以上未収が増えると、値上げを検討しなくてはならない。
中村委員	食べたら払う。乗るなら払う。当たり前のことである。子どもたちに教えていけないといけない教育だと思う。
	バス代は月額いくらなのか。前月分未払者はバス代を前払いにすることはできないのか。
	また、過年度分はいつまで徴収をするのかを教えてほしい。
竹見課長	幼稚園バス利用料 2,000 円で、同一世帯から 2 人以上の園児が幼稚園、保育園又は認定こども園に在籍して送迎バスを利用している場合は、その第 2 子以降にあたる者は半額になる。
	過年度分の徴収について、公債権は 5 年経過で地方自治法第 236 条による時効消滅をもって不能欠損処理をする。バス利用料、児童クラブ利用料、幼稚園保育料は私債権となるので、不能欠損できずそのまま残っている状況である。
丹後教育長	報告 4「小中学校児童生徒の問題行動等について」学校教育課報告を求める。
采女副課長	《議案書に基づき報告》
西田委員	先月、小学校のいじめ事案について、持ち物がなくなるという報告があったが、その後、同様のことは発生していないか。また、重大事態との想定はしているのか。
采女副課長	学校が再発防止、持ち物管理を徹底しており同じことは発生していない。 また、学校が保護者との連携をとり、ケアを十分に行っており重大事態に発展する事案とはしていない。
垣内委員	小学校、中学校とも不登校数が昨年度より増えているが、その理由は何か。

采女副課長	欠席が30日を超えると不登校とカウントする。4月は17日、5月は18日が登校日で、2ヵ月欠席すると5月末で35日になり、5月末から不登校にカウントされる。小中学校の6月不登校26名のうち、25名は令和2年度にカウントされていた子どもたちで、4月、5月は登校していた日もあったが、徐々にストレスや疲れが出て、6月に入り欠席が30日を超えたため、6月の不登校数が増加した。
丹後教育長	報告5「令和3年度7月小・中・特別支援学校定例校長会について」学校教育課報告を求める。
岸田課長	《議案書に基づき報告》
西田委員	12ページ、家庭での予習復習については、本市は弱いと思っていたが、今回は非常に良くなっている。それはどういう理由か教えてほしい。
岸田課長	詳細については、今後の各学校での分析となる。原因成果を追求していくが、今は把握できていない。
酒井次長	昨年度に教育研究所を設立し、各研修の中にも予習の重要性を取り入れた。緊急事態宣言中の休校における予習動画利用など、予習の重要性を大事な学習の方向性として指導してきたことが一部反映されたかと想定している。
西田委員	成果が表れた取組はぜひ継続してやっていってほしい。
中村委員	学力状況調査の結果について、中学生が大変よく頑張っていると感じた。小3・小5時には基礎学力が「▼」だったのが、中2で「○」に改善された。小学時のつまずきをどのように改善させたのか。その取組の充実を願う。
	算数に関しては小3・5の基礎学力が大きく左右する。一人も取り残さない小学生の基礎学力をしっかりと定着させてほしい。
	不登校生が増加しているが、肯定率が高い子どもは学校を休むことはないと考えている。近所の方に挨拶をして、地域のボランティア活動に積極的に参加し、毎日朝食を食べれば、肯定率が上昇するのではないか。また、不登校生と肯定率の関係性について分かれば報告してほしい。
垣内委員	子どもが減っている中、自殺者が増えているのは忌々しき問題である。夏休み、2学期に増加傾向であるので注意してほしい。
酒井次長	5ページについて、「目標値」というのは、市が独自で設定するものか。それとも全国共通のものか。
垣内委員	その問題作成に関わる会社が設定している。取り組んだ学校の統計データから算出されている。
丹後教育長	分析をよろしく願います。
丹後教育長	暫時休憩する。再開は15時20分とする。
	(休憩)
丹後教育長	会議を再開する。

丹後教育長	報告 6「丹波篠山市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について」文化財課報告を求める。
村上課長	《議案書に基づき報告》
西田委員 村上課長	今回関係行政機関の職員を委員から外した理由は何か。 行政職員はオブザーバという立場に関わるため委員から外した。
丹後教育長	報告 7「丹波篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会委員の委嘱について」文化財課報告を求める。
村上課長	《議案書に基づき報告》
丹後教育長	報告 8「丹波篠山市中高連携事業の取組について」学校教育課報告を求める。
西羅次長	《議案書に基づき報告》
垣内委員	取組に感謝する。いろんな意見を聞いていると思うが、通学問題についての意見は聞いているか。
西羅次長	2 ページ下、3-(2)②のとおり、駅から遠い、校舎が古いなど環境面での課題がある。駅から遠いという意見は、電車通学をする場合、駅に到着したあと、駅から学校までが遠いという意見を高校から聞いている。
垣内委員	生徒や保護者から改善の声は直接聞いていないのか。
西羅次長	昔は、雨天時でも自転車で登下校していたが、最近は雨天時車送迎が多い。潜在的にはあると思うが直接意見は聞いていない。
山本委員	今年度に入って中高連携事業を急速に進めてもらっている。市広報についても「見える化」で、よく伝わってきている。小学生でも高校に対するイメージが持てているのではと感じる。今後もよろしく願います。
丹後教育長	報告 9「教育長報告」について報告する。 市内 3 高等学校との連携について、それぞれ特色のある教育、地域連携が実施されている。市として、高校までしっかり受け入れる体制があることが、地域の活性化、郷土愛醸成に役立つと考える。今、市ができることに取り組んでいく。中学校において高校紹介を実施した。アンケートでは 9 割が良かったと回答があったが、これからの高校オープンハイスクールの参加者増とかたちではなかなか表れていない。 これからも長いスパンで、地道な活動をしていく必要があると考えている。 校長会では、イチローの言葉「しけたツラの奴にはチャンスは来ない」を

丹後教育長	<p>引用。マイナス思考であっても、危機管理能力が高かったり良い面もあるが、リーダーである校長は、プラス思考、ポジティブシンキングで取り組んでいただくよう伝えた。</p> <p>教職員初任者研修では講師を務めた。先生自身がいきいきと過ごしていくことが大事。教育者にとって大事なのは、「憧れ」だったり、「感化」されることが大事だと伝えた。</p> <p>また、教職員学校管理職試験の受験者減少している。校長、教頭がいきいきと校務にあたることが大事だと伝えた。</p> <p>以上で教育長の報告とする。</p> <p>それでは、第5回定例教育委員会をこれで終了する。</p>
-------	---